

「E-UNIT[®]」製作手順書

(E-ユニット・スーパーE-ユニット ER-タイプ共通)

ナカダ産業株式会社

静岡県島田市志戸呂 880-3 TEL.0547-45-3141

1) 数量確認



製作前の袋材を仮置きし、数量確認を行ってください。

2) 袋装着



型枠に保護シートを先に装着し、その後に袋材を装着します。
袋材の末端が型枠の一番下に付くまで引っ張ってください。
※ネット装着後、袋材と型枠の隙間がないことを確認してください。
※Eユニットは二重網、スーパーEユニットは一重網になります。
二重網タイプは、内網と外網がなるべくずれないように装着して下さい。

3) 中詰め



バックホウ等を用いて中詰めを行います。

中詰め材の目安は以下の通りです。

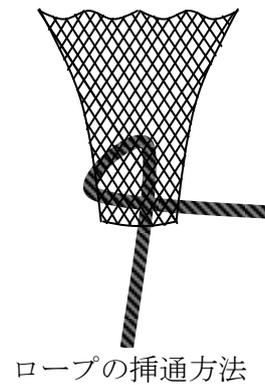
2t	=	1.6t/m ³	(通常碎石の空隙を考慮した密度)	×	1.25 m ³	(型枠のすりきり一杯)
4t	=	1.6t/m ³	(通常碎石の空隙を考慮した密度)	×	2.50 m ³	(型枠のすりきり一杯)
8t	=	1.6t/m ³	(通常碎石の空隙を考慮した密度)	×	5.00 m ³	(型枠のすりきり一杯)

※1t・3tは型枠のおよそ8分目程度になります。

4) 口縛り
・仮吊り



白紐の目印より、吊りロープを引き出し、仮吊りを行い、ロープ、網地の長さを揃えます。
吊りロープの吊り本数は E-ユニット (E-タイプ)、スーパーE-ユニット (ER-タイプ) : 4点吊り
E-ユニット (ES-タイプ) : 6点吊り
地切りまで袋体を吊上げないようにしてください。



ロープの挿通方法

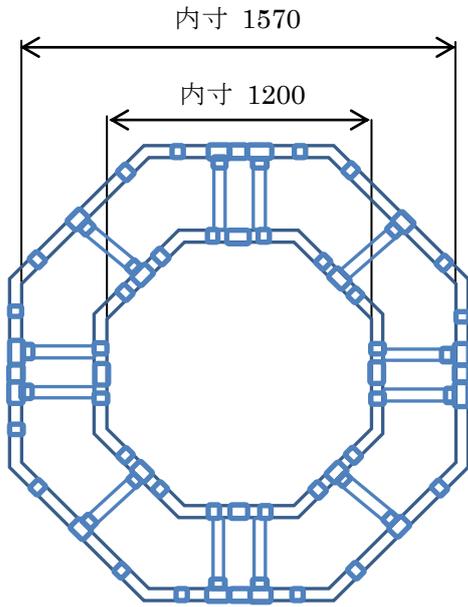
付属の口縛りロープを網を束ねた根元の位置に通し、口縛りを行って下さい。
ロープは口縛り位置のネットの内部に十字に挿通して下さい。

5) 仮置き

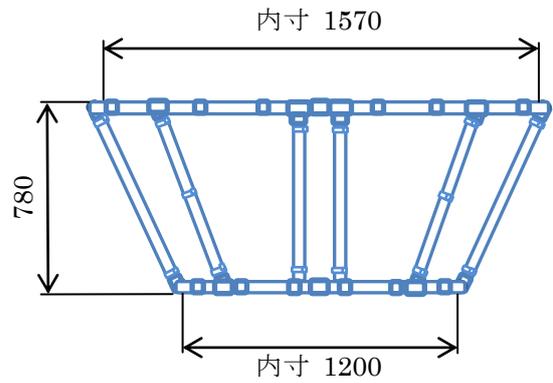


中詰めの終わった袋 材を仮置きします。
所定の場所へ運搬、もしくはクレーン等で吊り上げ布設します。

袋材の計量製作枠図面



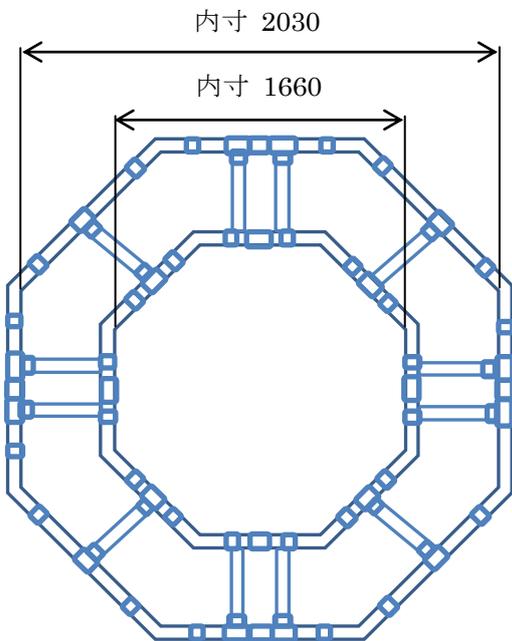
正面図



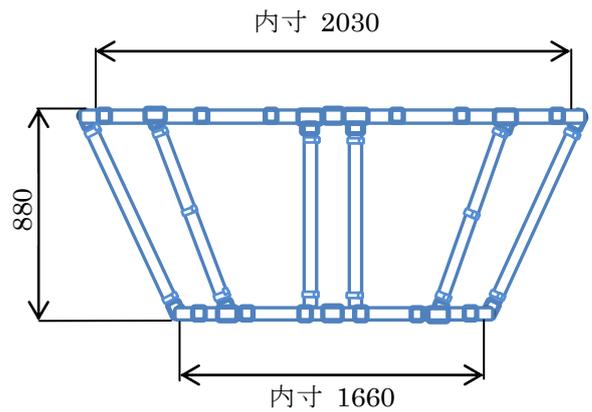
側面図

単位：mm

a) 1t・2t 用型枠



正面図



側面図

単位：mm

b) 3t・4t 用型枠

※都合により型枠が貸し出しできない場合があります。
(コンパネで型枠を製作した場合の使用例です。)
型枠につきましては、別途図面を参照して下さい。



①コンパネ+単管タイプで枠組みします。



②保護シートを装着してください。

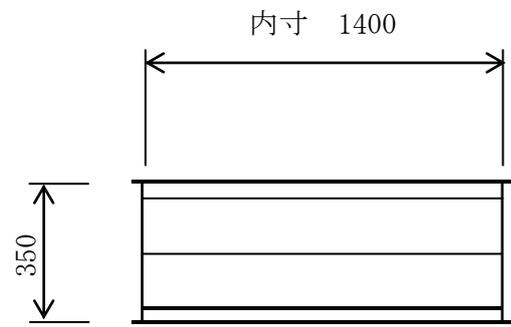
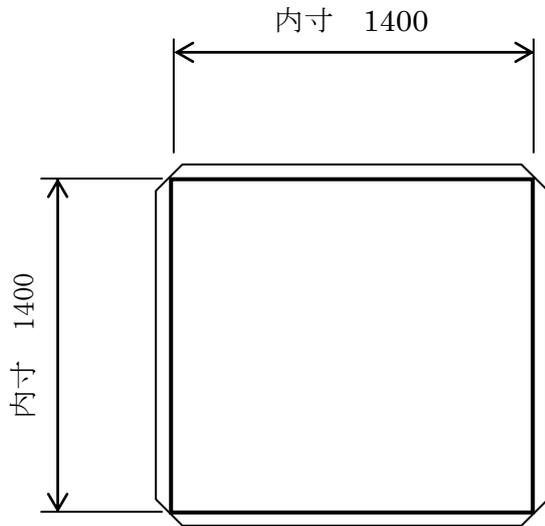


③最後にE-ユニットを設置してください。

※設置後は八角形型枠と同様です。
前ページをご参照ください。

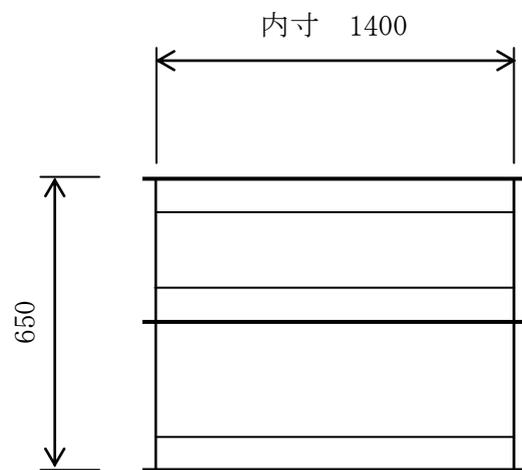
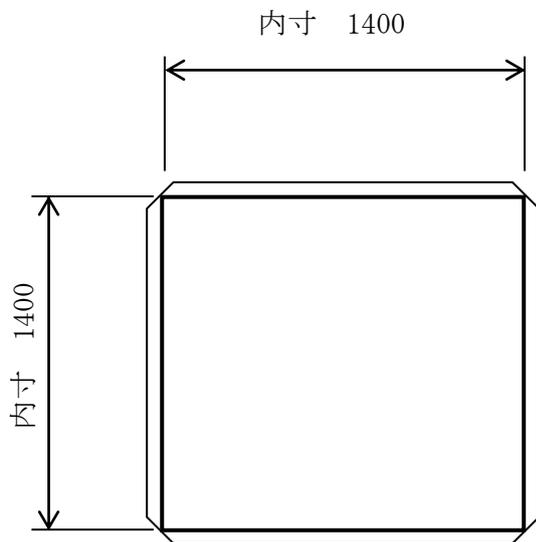
袋材の計量製作枠図面 (1t・2t)

【ES-1t・ER-1t】



単位：mm

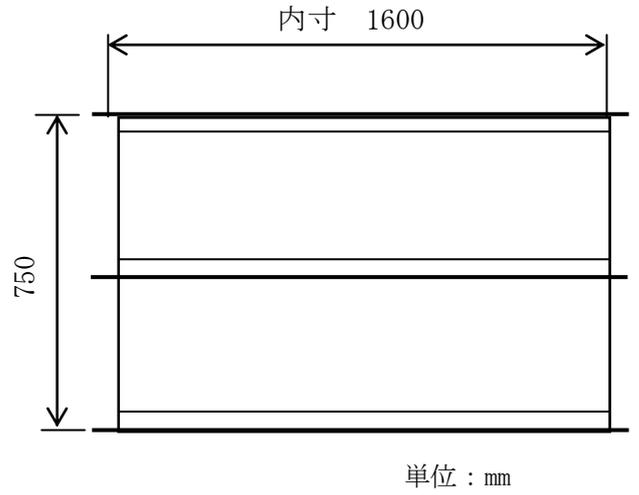
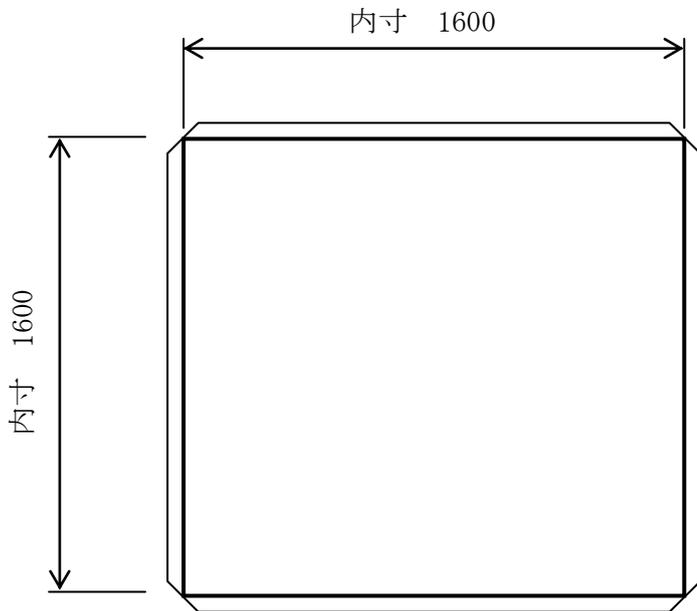
【ES-2t・ER-2t】



単位：mm

袋材の計量製作図面 (3t・4t)

【ES-3t・ER-3t】



【ES-4t・ER-4t】

